

小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き改定 概要

- 平成29年7月九州北部豪雨や令和6年9月能登半島豪雨では、大量の土砂や流木が洪水により流送され、流木が橋梁部で捕捉されるとともに、土砂が長い区間にわたって堆積し、氾濫範囲が拡大。
- 「能登半島での地震・大雨を踏まえた水害・土砂災害対策検討会」の提言を踏まえ、「土砂・流木を考慮した中小河川の水害リスク評価に関する技術検討会」を設置し、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」（土砂・流木堆積の影響を考慮）を改定。

